

老いも死も 人生の自然



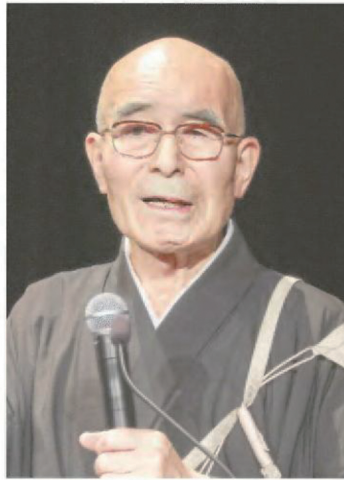
養老孟司 東京大名誉教授

日本人の心のあり方について考える「薬師寺まほろば塾」の東京塾(法相宗大本山薬師寺、読売新聞社主催)が6月25日、東京・日本橋の三越劇場で開かれた。塾長を務める加藤朝胤・薬師寺管主の法話のほか、解剖学者で東京大名誉教授の養老孟司さんが、仏教の教えとともに老いや死への向きあい方を説いた講演に、約500人が聞き入った。

ようろう・たけし 1937年、神奈川県生まれ。東京大医学部卒業後、解剖学教室に入る。1989年に「からだの見方」でサントリー学芸賞。ほかにベストセラーの「パカの壁」など著書多数。現在は、好きな昆虫を探し歩く日々を過ごす。

薬師寺 まほろば塾 *東京

加藤朝胤 塾長・薬師寺管主



日本に仏教が伝わったのは538年、あるいは552年とされます。以降、最初に六つの宗派が日本に入ってきました。俱舍宗、三論宗、成実宗、法相宗、華嚴宗、律宗です。当時の僧侶はすべての教えを勉強しました。寺は今の大学のようなものです。薬師寺で専門に学ぶ僧侶が一番多かったのが、現在の宗派である法相宗でした。

仏教では、すべての人間は仏になるための種「仏性」があり、仏になれる性「成仏」できるという説があります。そのためには修行が必要です。お釈迦さまは、断食や不眠不休で折るといった苦行はしてはいけなとおっしゃっています。自分でできる正しいことを続ける、これが修行です。正しい教えを実践している人は「菩薩」です。だけ

正しい修行 積み重ねて

かとう・ちやういん 1949年、愛知県生まれ。23歳で薬師寺に入山し、高田好胤(ごうたこういん)和上(わじょう)に師事。日本大法学部、龍谷大学文学部卒。2019年から管主を務める。著書に「ブッダの言葉エッセイ」「般若心経」「唯識」(これらは知れたい)など。

どう、なかなか長続きしません。修行が続かないからほさつとされている」と言います。実践しないと、仏になることはできません。

法相宗の教えには、仏性のない人、悟れない人もいるのではないかと、ありまます。基本的なお釈迦さまの考えからすると、矛盾が生まれてきますよね。

これは、例えば戦争を起して大勢の命を奪った人が、反省して、罪の償いをしたとしましょう。それで「仏性があるんだから、成仏させてください」と言ったとしたら、どうお考えになりますか。私は個人的には許せません。罪の償いと云うのは人間が決めているんです。大勢の命を奪った



世界の安穩 祈る

法話と講演に先立ち、会場では中東情勢などを念頭に、世界の人々の安穩を祈願する法要が営まれた。写真真一。薬師寺の本尊・薬師如来像(国宝)を写した掛け軸が掲げられた舞台上、加藤管主を導師に僧侶4人が祈りをささげ、参加者とともに般若心経を唱えた。

言葉にできない世界 尊ぶ

「私は「年の取り方」や「死に方」を決めていません。そもそも人生は予定していたものではなく、気がついたら生まれていたので。最近では「自分の一生は自分で何とかする」と考えるようですが、「自分の命が自分のもの」と誰が決めたのか。どうやって年を取って死ぬかなんて思うようになるわけがないのです。

数年前、心筋梗塞になりました。去年はがんが見つかり、抗がん剤治療をしています。結構元気にして11月で88歳になります。

仏教には「生老病死」という言葉があります。生きて年を取り、病になって死ぬ。人生の自然だと思えます。日本では昔から、このような仏教的な考え方があります。

一方、米国の医学では、年を取ることを病気だと考え、老化を防止しようという薬が開発されています。それでどうするんだらう。120歳に

なった人が、100歳で亡くなる人を見て「気の毒に」と言う。平均寿命が測れるようになって同じでしょう。

生老病死とか、全てのものが移り変わる「諸行無常」といった仏教的な考え方と、現代の情報化社会は、根本的に一致しません。情報とは、時間的に変化しないものを指します。平家物語は「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり……」で始まりますが、その内容は言葉という情報になっていて、数百年間、一言も変わらないのです。

言葉に限らず、みなさんがスマートフォンで撮った写真も情報です。時が止まり、諸行無常ではなくなくなってしまふ。その中で、自分も変わらないのが当たり前だと思ってしまうが、人はどんどん変わっていくものなんですよ。情報と二番違うのが感覚です。例えば赤いリングや黄色いリング、切ったリング、切

特若い人には、言葉ではない世界にできるだけ触れてほしい。スマホの写真は保存できますが、その時は過ぎていて戻ってきません。年を取るとしみじみ分かります。

大病になり、病氣は私のものじゃないな、と思うようになりました。本当に困るのは家族や知り合いです。自分がどう生きるというよりも、周りの中で人は生きていくのです。病氣にならないと、そういうことに気がつかない。私はバカだと自分で思うんですけど。

どういふふうに人生を終えていくのかは、年を取れば分かれます、と言っしかないです。

* 会員募集

「薬師寺まほろば塾」の推進の会(会費は無料)を募集しています。年会費(1口)は個人6000円、法人30万円。会員は薬師寺や各地で開かれるまほろば塾への優先申し込み、無料参加などができます。法人会員は研修・記念行事への講師派遣、薬師寺での旅行や研修の支援といった特典があります。

* 11月24日「山口塾」

11月24日午後1時から、山口県下関市の下関市民会館で、薬師寺まほろば塾山口塾を開催。法話のほか、大相撲解説者・スポーツキャスターの舞の海秀平さんが「決してあきらめない」の演説で語る。参加費は3000円(推進の会会員は無料)。

* 10月23日 定例東京塾

10月23日午後1時から、東京・日本橋の三越劇場で定例東京まほろば塾を開催。法話に続き、能楽小鼓方大倉流十六世宗家の大倉源次郎さんが「小鼓から紐解く」と題して、能楽のテーマで講演。小鼓の解説なども行う。参加費2000円(推進の会会員は無料)。

薬師寺まほろば塾に協賛しています (順不同)

国になろうとしている頃、「このままいく」と考え、まほろばの心を取り戻そうと、辻説法を始めました。まほろばとは美しい、優れたところという意味です。その思いを受け継ぐのがまほろば塾です。きょうのお話を聞いて、美しい心を養う機会にしたいだければ幸いです。



老川祥一 読売新聞グループ本社会長・主筆あいさつ

ここ1、2年、世界では戦争が続く、人道上の問題はどこかにいつかあったように。日本でも闇パイトの犯罪や、何の関係もない人を殺すといった悲惨な事件が起きています。それを予見していたのか、薬師寺の高田好胤さんは、日本が経済大

文は相野ななせ、写真は田中秀敏が担当しました。

岩谷産業
サンポートホールディングス
近鉄百貨店
パナソニックホールディングス
大阪シティ信用金庫
岩谷瓦
キンセイマテック
新コスモス電機
ワコルホールディングス
今日庵
小山
佐藤木材
〈中部〉
トヨタ自動車
東海旅客鉄道
東海理研
〈関東〉
ウェルリンク
ヒノキ新業
エヌエスエー・グローバル
遠州茶道宗家
クオールホールディングス
セントラル石油瓦斯
山田合同事務所
〈九州〉
はせがわ
〈中国〉
合人社グループ
〈東北〉
熊谷電気